

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ベータ リコシェ・ニューブリッド β	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	Δ RG	0.056	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
 番
 4 $\frac{1}{2}$ インチ

比較対照ボール：リコシェ・ニューブリッド

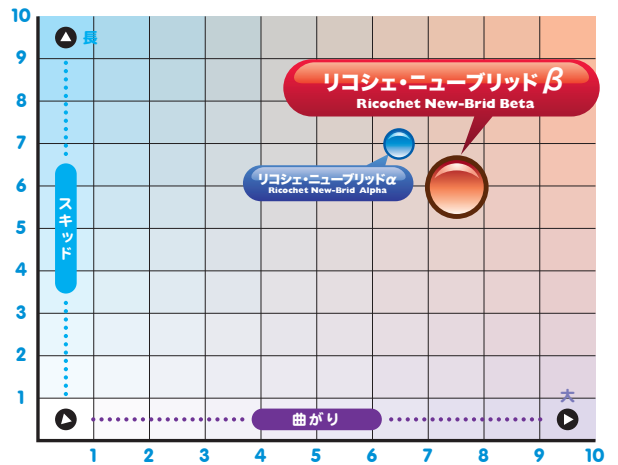
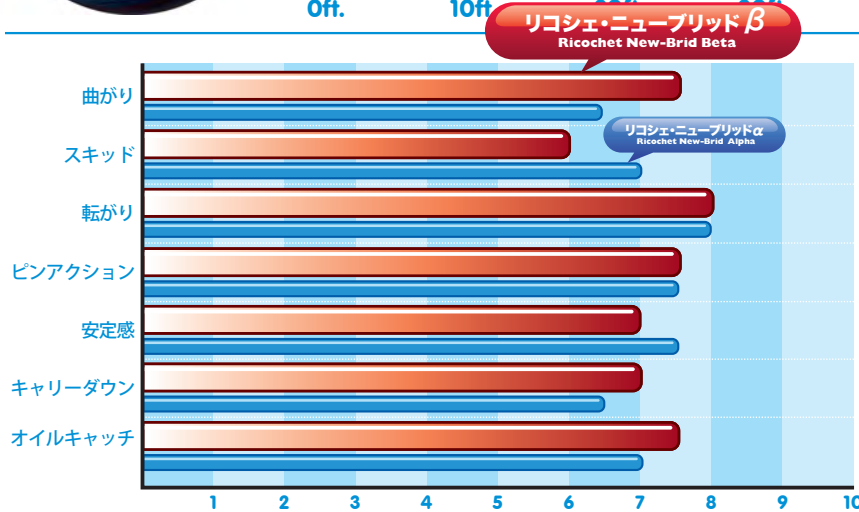
フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
 番
 4 $\frac{1}{2}$ インチ



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

走る・切れるの代名詞でもあるリコシェシリーズから今回発売されるリコシェNew brid β 。独特な走り感と切れ方を好み、初代から今まですべて投げたという人も少なくありません。今回のリコシェNew brid β はリコシェNew brid α と同等のスキッド感を保ちながら、オイルキャッチを強化。ドライゾーンでの反応の良さも同時に強くなっています。

このリコシェNew brid β を投球し感じた事です、オイルゾーンを抜けてからドライゾーンに入った瞬間のボールの向きが変わり方が早いのが見てとれます。このリコシェNew brid β の売りはドライゾーンでの反応の良さで、一気に向きが変わる激しさを得る事が出来るでしょう。

バックエンドでの反応が良くなった事で曲がり幅は大きくなり、前作のリコシェNew brid α と比べても大きく出し戻すラインが取れるようになりました。やはり歴代から続くリコシェシリーズは走って・切れるという表現が良く似合います。既存の表面加工をアブラロンパッドで#4000・#2000と各々の目的に合わせ加工を施せば、さらにオイルに強く、バックエンドでのアグレッシブな動きを失わずに使用することができます。私のベストチューンナップは#4000番アブラロンパッド加工で、箱出しの表面加工よりもバックエンドでの動きはそのままにオイルに対しての強さを感じる事が出来ました。

特記事項

リコシェファン必見! 走って・切れるリコシェがアグレッシブな性能でここに発売されます。先で切らずボウリングを信条としている方には是非使って頂きたいボールです。